

彦名通信

No. 158

平成21年10月



全国高専大会 卓球部男子団体&男子ダブルス 優勝



全国高専大会 バスケットボール部男子 準優勝



全国高専大会 陸上部男子100m 優勝

CONTENTS

目次

イベント特集

学生主事より	2
主な成績一覧	2
クラブ別報告	3・4・5
オープンキャンパス	6・7

クラス便り

4年学年主任より	8
4年機械工学科	8
4年電気情報工学科	8
4年電子制御工学科	9
4年物質工学科	9
4年建築学科	9
専攻科1年	10

寮生会便り

寮行事紹介	10
-------------	----

研究活動

研究紹介	11
学会表彰	11

トピックス

トピックス	12・13
後期行事予定	13

地域交流

公開講座・出前講座報告	14・15
中・高校生科学ゼミナール	16
編集後記	16

クラブ活動 各種大会報告

学生主事 一般科目 竹内 彰継

本年度の高専体育大会は、中国地区大会が7月3日～5日に宇部高専を主管校、徳山・松江高専を協力校として開催されました。本校は全13競技にエントリーし、全国大会出場を目指して戦いました。その結果、バドミントン男子が3年連続で団体・個人全種目制覇し、卓球男子も団体・個人全種目制覇しました。また、水泳で2 A村尾太一君が男子100m、200m平泳ぎで大会新記録で優勝、柔道では1 E中曾哲史君が1年生ながら90kg超級で優勝しました。さらに、陸上では男子4×100mリレーで5 D遠藤俊君、4 D番原脩君、3 D古磯和樹君、2 E松本凌君が優勝、テニス男子ダブルスで3 M山本優希君、2 D横山大志君が優勝し、優勝数は団体2種目、個人12種目と昨年を上回りました。そして、優勝こそ逃しましたがバスケットボール男子が2位、ハンドボールが3位で、学校対抗得点では水泳が2位、陸上が3位と健闘しました。また、同時開催の第10回中国地区高等専門学校女子剣道大会では団体優勝しました。

全国大会は8月18日から28日に沖縄を含む九州の各地で開催され、本校からは陸上、バスケットボール、卓球、柔道、剣道、水泳、テニス、バドミントンの8競技に総勢70名近い選手が出場しました。その結果、卓球男子が33年ぶりに団体優勝し、バスケットボール男子は全国大会初出場でいきなり準優勝となりました。個人種目では陸上男子100mで5 D遠藤俊君が3連覇を達成し、卓球男子ではダブルスで5 M河野美雅君、5 D大畑諒輔君が優勝、シングルスでは4 E黒見晃平君が3位、バドミントン男子シングルスでは3 D宮原亮太君が3位となりました。

高専大会以外でも野球部が第91回全国高等学校野球選手権大会鳥取大会で34年ぶりにベスト8に進出しました。ちなみに、2勝してのベスト8進出は今回が初の快挙です。このように今年の夏は米子高専大活躍の夏となりました。

主な成績一覧

中国地区高専体育大会 (平成21年7月3日～5日)

■陸上	
団体	3位
男子100m	2位 5 D遠藤 俊
男子100m	3位 3 D古磯和樹
男子200m	2位 5 D遠藤 俊
男子200m	3位 3 D古磯和樹
男子110mH	2位 4 D番原脩介
男子4×100m R	1位
	3 D古磯・4 D番原・2 E松本・5 D遠藤
男子4×400m R	2位
	4 D番原・2 E松本・5 D遠藤・3 D古磯
男子砲丸投	2位 3 E森本大志
男子円盤投	3位 3 E森本大志

■バスケットボール男子	2位
■バレーボール男子	予選リーグ3位
■ソフトテニス男子	予選リーグ3位

■卓球	
男子団体	1位
男子シングルス	1位 4 E黒見晃平
男子シングルス	3位 5 M河野美雅
男子ダブルス	1位 5 M河野・5 D大畑
男子ダブルス	3位 4 C瀧・4 E黒見

■柔道	
男子団体	予選リーグ3位
男子90kg超級	1位 1 E中曾哲史

■剣道	
男子団体	4位
男子個人戦	4位 3 D山根大明
女子剣道大会	1位

■水泳	
団体	2位
男子100m背泳	1位 3 D武良優輝
男子200m背泳	3位 3 D武良優輝
男子100m平泳	1位 2 A村尾太一 (大会新記録)
男子200m平泳	1位 2 A村尾太一 (大会新記録)
男子400mメドレーリレー	

	2位
	3 D武良・2 A村尾
	1 D植松・3 A山崎
	(大会新記録)
女子100m自由形	1位 2 A船越杏子
女子100m平泳	1位 2 A船越杏子

女子100m平泳	2位 2 C中尾あかり
女子50mバタフライ	
	2位 2 C中尾あかり

■硬式野球	1回戦敗退
■サッカー	Aパート 2位

■テニス	
男子団体	3位
男子シングルス	3位 5 D竹本博樹
男子シングルス	3位 2 D横山大志
男子ダブルス	1位 3 M山本・2 D横山

■ハンドボール	3位
----------------	----

■バドミントン	
男子団体	優勝
男子シングルス	1位 3 D宮原亮太
男子シングルス	2位 5 E下田 諒
男子シングルス	3位 5 E下田泰樹
男子ダブルス	1位 3 D宮原・3 E椿
男子ダブルス	3位 5 D岡本・5 M長谷川
女子ダブルス	3位 2 A音田・2 C水谷
女子ダブルス	3位 3 E秋元・1 A千原

全国高専体育大会 (平成21年8月18日～28日)

■陸上	
団体	9位
男子100m	1位 5 D遠藤 俊
男子100m	3位 3 D古磯和樹
男子200m	3位 3 D古磯和樹
男子4×100m R	5位
	3 D古磯・2 M宇根・4 D番原・5 D遠藤
男子砲丸投	8位 3 E森本大志

■バスケットボール男子	2位
--------------------	----

■卓球	
団体	優勝
男子ダブルス	1位 5 M河野・5 D大畑
男子シングルス	3位 4 E黒見晃平

■柔道	
男子90kg超級	初戦敗退 1 E中曾哲史

■剣道	
男子個人戦	初戦敗退 3 D山根大明
女子剣道大会	2回戦敗退

■水泳	
男子100m背泳	予選敗退 3 D武良優輝
男子200m背泳	予選敗退 3 D武良優輝
男子100m平泳	4位 2 A村尾太一
男子200m平泳	5位 2 A村尾太一
男子メドレーリレー	予選敗退
	3 D武良・2 A村尾・1 D植松・3 A山崎
女子100m自由形	予選敗退 2 A船越杏子
女子100m平泳	予選敗退 2 A船越杏子
女子100m平泳	予選敗退 2 C中尾あかり
女子50mバタフライ	
	予選敗退 2 C中尾あかり

■テニス	
男子ダブルス	初戦敗退 3 M山本・2 D横山

■バドミントン	
男子団体	2回戦敗退
男子シングルス	3位 3 D宮原亮太
男子ダブルス	2回戦敗退
	3 E椿・3 D宮原

その他の大会等

■高校野球 (7月18日～ 鳥取県大会) ベスト8

■放送部 (7月21日～25日 NHK杯全国放送コンテスト)
テレビドキュメント、創作テレビ、創作ラジオドラマ各部門 初戦敗退
3 D豊見・2 D長尾・2 E大坪・
1 D寺西・土師・鐘撞・1 E小谷・1 M新田

■ヨット
(6月11～14日) 第49回中国高等学校ヨット選手権大会女子PJ級ソロ
5位 2 C黒見・2 A原田
(8月13～17日) インターハイ (2009近畿まほろば総体) 女子PJ級ソロ競技
33位 (42組中)
2 C黒見・2 A原田

■吹奏楽
8月8日 全日本吹奏楽コンクール鳥取県大会 金賞
8月22日 全日本吹奏楽コンクール中国大会 銅賞

■合唱
8月16日 全日本合唱コンクール鳥取県大会 銀賞 (中国大会出場)

■将棋同好会
8月24～26日 全国高専将棋大会
個人戦 決勝トーナメント
ベスト16 3 M澤 貴宏
1回戦敗退 1 D八木智弥

卓球部：団体&男子ダブルス 33年ぶりの優勝！

顧問 電気情報工学科 田中 博美

第44回全国高専体育大会卓球競技は8月23日・24日の両日、大分県別府市のべっぴアリーナで開催されました。

本校卓球部は、団体戦で33年ぶりに中国地区を1位で勝ち抜いて全国大会に駒を進めており、勢いそのままに別府に乗り込みました。団体戦では、まず3校による予選リーグを行い2勝0敗の1位で通過しました。決勝トーナメントでは前年度優勝校の一関高専と準優勝校の苫小牧高専をそれぞれ準決勝・決勝戦で撃破して、33年ぶり4回目の全国制覇を果たすことができました。また、男子ダブルスでは、5M河野美雅・5D大畑諒輔のペアが悲願の初優勝を、男子シングルスでは、4E黒見晃平が3位入賞を果たしました。

今回の大会では、粘り強く・最後まで諦めない「気持ちのこもった好試合」が沢山ありました。このような試合の積み重ねが、優勝という結果につながったと思います。

ここまで学生達を育ててくださった地域の卓球関係者の皆さんと本校の教職員の皆様に心より感謝致します。

この全国優勝を到達点ではなく、米子高専卓球部の新たな伝統の出発点にしたいと考えています。今後も引き続き、皆様の暖かい御支援・御鞭撻を賜りますよう宜しくお願い致します。



陸上部：男子100m 全国3連覇

5D 遠藤 俊

「全国3連覇」。私は5年間の集大成として、最高の形で最後の全国高専大会を終えることができました。全国高専大会前に毎怪我をしてしまい、チームのみんなには迷惑をかけてしまいました。そのたびに私をサポートしてくれたチームのみんなにはとても感謝しています。いつも思うことは「陸上」は個人スポーツではないということです。1人のために仲間が動き、1人では超えられない壁を仲間とともに超えてゆく。そんなチームスポーツだと思います。

来年、頼もしい後輩達がさらに活躍してくれると思います。特に、いつも好き勝手にやってきた私についてきてくれた短距離のみんなには期待しています。その中でも、今回の全国高専大会は怪我で力を発揮しきれなかった4D番原、100m、200mでどんどん力をつけてきている3D古儀は来年はやってくれると信じています。頑張れよ！私はこの米子高専陸上部でさまざまな大会を経験させてもらい5年間で大きく成長できたと思います。この経験1つ1つが私にとっての宝物です。正直、好きで始めた「陸上」ではなかったのですが、ここまで私を導いてくれた家族、先輩、顧問の先生には本当に感謝しています。ありがとうございました。



100m決勝のスタート（中央が遠藤）

男子バスケットボール部：全国大会初出場で準優勝!!

顧問 一般科目 大庭 経示

8月22・23日に沖縄県宜野湾市立体育館で行われた第44回全国高専大会バスケットボール競技において、本校男子チームは全国大会初出場を準優勝で飾ることができました。

22日の予選リーグでは試合球や審判の判定に戸惑い、初戦の長岡高専戦を3点差で落とし、続く舞鶴高専戦でも相手にリードを許す厳しい展開となりましたが、前半終了直前に5D増田の連続3ポイントシュートで逆転し、その勢いに乗って勝利して辛くも準決勝進出を決めました。

23日、松江高専との中国地区対決となった準決勝は、全国大会優勝9回の強豪相手に2M來福の献身的なディフェンス、5M濱寄のリバウンド、3D丸田のゴール下などで主導権を渡さずに競った試合に持ち込み、終盤には相手がシュートを落とすのに対して3E池信、5D安田の速攻や3ポイントシュートなどで勢いに乗って対松江戦に初勝利することができました。続く鈴鹿高専との決勝戦も最後まで諦めず戦いきましたが惜しくも敗れ、優勝には届きませんでしたが、初出場で準優勝と言う結果は十分に誇れるものだと思います。

今回の全国大会出場に際し多くの関係者から御支援を賜り誠に有難うございました。今後ともバスケットボール部への御支援・御声援の程、宜しくお願い申し上げます。



バドミントン部：全国大会

3D 宮原 亮太

昨年の全国大会、僕は1回戦敗退でした。それから1年間、自分なりに努力し、秋の新人戦と春の総体では納得のいく結果を残すことができました。その後の中国大会を3冠という形で終え、迎えた全国大会。

米子高専は全国に出場しだした一昨年から今の5年生主体のチームです。今回はこのチームで戦う最後の団体戦なのでなんとしても「団体戦ベスト4入賞」を最大の目標に掲げてみんなで練習に取り組んできましたが一步及ばず、みんながとても悔しい思いをしました。個人戦ダブルスは1回戦突破したものの、ベスト4入賞をかけた2回戦で勝利目前にして勝ちを逃し、また悔しい思いをしました。

2日目の個人戦シングルスでは1回戦から接戦となりましたが、仲間の応援に助けられ接戦をものにすることができました。続く2回戦も接戦でなんとか突破し、念願のベスト4入りを達成できました。準決勝ではあと1点で勝てるというところから逆転負けを喫して、結果は3位に終わりました。

ダブルスシングルスともに1点に泣く結果となりましたが、悔しい反面、1年間やってきた結果として3位入賞というものをつかめたというのはうれしいです。大会を通して、仲間の応援には本当に助けられたと思っています。応援のおかげでいつも以上のプレーができ、こういう結果になったのは事実です。一緒に戦い、頑張ってきた仲間や応援してくれた人には心から感謝しています。5年生は引退ですが、3年間このメンバーで戦えてよかったと心から思います。今回の悔しさをしっかり受け止めて、来年以降はさらに上の結果を目指して部員みんなで一丸となって練習に取り組みたいです。



水泳部

3A 山崎 基弘

今年の水泳競技全国大会は、8月23日（日）に宮崎県総合運動公園水泳場で行われました。

中国地区大会で大会記録を出して出場を決めた400mメドレーリレーも全国の強さの前に予選で敗退してしまいました。また、2年連続3位入賞していた村尾君も3位入賞を逃し、全国との実力の差を思い知る結果となってしまいました。しかし、このような結果に終わっても「もっと練習をして、来年こそは絶対メダルをとろう！」と部員達のモチベーションは上がり、刺激になる良い大会になったと思います。

来年、静岡県沼津で開催される全国大会に向け、今回の大会の悔しさを忘れず、日々練習に励もうと思います。これからも応援よろしくお願いします。



柔道部：中国大会優勝、全国大会健闘

顧問 一般科目 布施 圭司

柔道の中国大会は宇部市の宇部市武道館で開催され、団体戦は予選リーグ敗退であったが、男子個人90kg超級で1Eの中曽哲史君が優勝した。初出場での快挙であり、柔道部一同大いにわき立った。

全国大会は別府市のべっふアリーナで開催され、中国大会で優勝した1Eの中曽哲史君が出場した。特に故障もなく好調で、本人も早く試合がしたいと意気込んでいた。試合は一進一退で決着がつかず、延長戦にもつれ込み、それでも決着がつかなかった。判定となり、主審がこちらの勝利と判定したが、副審2名が相手の勝利と判定し、1-2で判定負けとなった。敗れはしたが4年生相手の互角の戦いは、今後の活躍を期待させる内容であった。応援に駆けつけて下さった保護者、校長先生、また日頃の活動を支えて頂いている皆様に御礼申し上げます。



テニス部：全国高専大会に出場して

3M 山本 優希

第32回全国高等専門学校テニス選手権大会が8月26日～28日の間、熊本県民総合運動公園パークドームでありました。僕は2D横山君と組んで個人ダブルスに出場しました。1回戦にサレジオ高専の1年・2年ペアと当たりました。結果は4-8で負けてしまいました。去年はマネージャーとして全国大会を見に行ったのですが今年は選手として出場することが出来ました。去年とは全く違う全国の雰囲気を感じる事が出来ました。全国で見つけた課題を克服して、来年も中国大会で優勝し、全国に出場して雰囲気にのまれずに、1回でも多く勝利出来るように1年間テニスに励んでいきます。



剣道部：高専体育大会の報告

3D 山根 大明

今年の中国地区高専大会は徳山高専で行われました。大会初日は団体戦でした。男子は中国地区の強豪大島や呉に負け、同率3位同士で行った松江高専との定期戦を再現した代表戦も負けてしまい、結果は4位でした。女子団体では決勝戦で大将戦までもつれ込んだ試合を制し優勝しました。2日目は個人戦でした。男子個人戦では昨日の負けを払拭するかのようになんかが奮闘しベスト8に米子勢から3人入り、個人の力では負けていないと思いました。僕はなんとか全国行きを決めました。

全国高専大会は北九州の若松体育館で行われました。女子団体は初戦突破をしましたが、2回戦で負けてしまいました。僕は初めに1本取りましたが、全国初出場の緊張から思うように動けず、2本取られ負けてしまいました。中国、全国と不本意な結果で終わってしまったので、来年こそ男女ともに全国に駒を進め、勝ち上がっていきます。

最後に剣道部を応援し支えてくださった方々、本当にありがとうございました。



夏という名の宝物

硬式野球部 副主将 3M 岩田 隼輔

2・3年生わずか11名で冬の厳しいトレーニングを乗り越え、1年生11名を迎えて臨んだ春の県大会で延長戦で勝った鳥取工業高校が初戦の相手、2回戦も春の大会の2回戦でコールド負けを喫した鳥取中央育英高校が相手となりました。怪我でレギュラーが2人欠けていましたが、自分たちがこれまでやってきた事を信じ、チーム一丸となって大会に臨みました。2試合とも厳しい展開でしたが、1点差を守り抜きベスト8に進出しました。準々決勝は米子松蔭高校と対戦しました。ピッチャーの小田原は連投となりましたが粘り強い投球を続け6回を終わって0対0の接戦となりました。高専もチャンスはありましたがタイムリーが出ず、最後は0対3で敗れました。甲子園に行けなかったのは残念ですが、高専として初の夏の大会2勝、34年ぶりのベスト8になりました。校旗を2回揚げ、校歌を2回歌えた事は、僕たちにとって本当に“夏という名の宝物”となりました。応援して下さい皆様、ありがとうございました。



放送部：NHK杯全国高校放送コンテスト全国大会2年連続出場

顧問 物質工学科 田中 晋

6月13日にNHK杯全国高校放送コンテスト鳥取県大会が開催され、本校放送部は、テレビドキュメント部門と創作テレビドラマ部門で最優秀、創作ラジオドラマ部門で第2位となり、3部門において全国大会進出を果たしました。

テレビドキュメント部門出品作品「自転車おじさんあしたを守る」は弓ヶ浜駅で自転車の整理をしていらっしゃる石原さんを追った作品で、部員たちにとっても放置自転車問題について考える良い機会となりました。創作ドラマの2本は、いずれも友情をテーマにしたコメディタッチの作品です。初めてテレビドラマやラジオドラマを創る部員がほとんどでしたが、3年生以下9名の部員でアイデアを出し合い、学生らしいユニークな作品に仕上げる事ができました。

7月22～24日に東京のNHKホールなどで開催された全国大会では、残念ながら3部門とも一回戦を突破することができませんでしたが、審査員が評価する作品の傾向や他校の技術レベルを知る良い機会となりました。次なる目標は、全国大会で作品が上位入賞することと朗読部門での県大会突破です。

なお、今回の作品は、高専祭で上映しますので是非とも足をお運びください。



全国大会での集合写真

ヨット部

2A 原田 小鈴

インターハイ出場が決まって短く限られた練習期間の中で、自分達の出来ることを顧問の先生や先輩方、チームメイト達に支えられながら必死にやっていました。不安や焦りの中迎えた和歌山でのインターハイ。思った以上に全国という壁は高く分厚く、自分達の力はまったく及ばず悔しい思いをしました。しかし、今回のインターハイでは自分達の課題、また新たな目標を見つけることが出来た良い経験になったと思います。

来年は必ず男女共にインターハイ出場をし、優勝を目指していきます。



吹奏楽部の行事報告

顧問 建築学科 山田 祐司

●吹奏楽コンクール鳥取県大会

8月8日（土）に米子市公会堂で標記のコンテストが開催され、吹奏楽部は大学の部に出場して金賞を受賞し、中国大会へ出場することになりました。（演奏曲目：課題曲—マーチ・青空と太陽、自由曲—クラムボン—はわたつたよ（福島弘和））出場者数は28名でした。

●吹奏楽コンクール中国大会

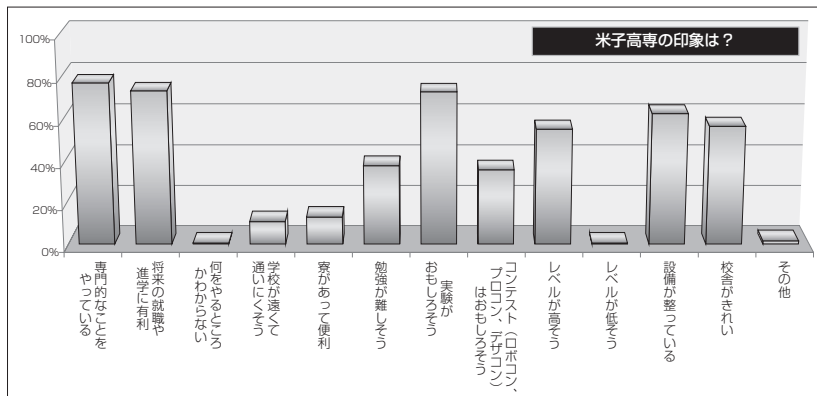
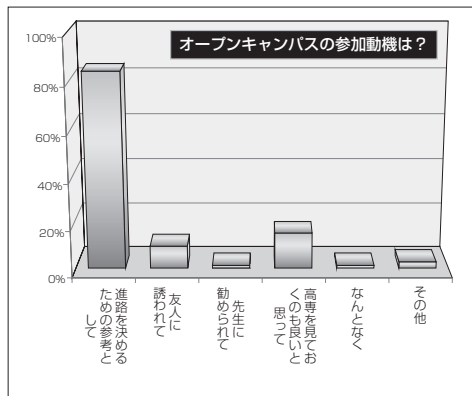
中国大会は8月22日（土）に山口県周南市の文化会館で開催されました。大学の部には中国5県から大学4団体、高専2団体（米子、松江）が出場しました。結果は銅賞でした。審査員からの講評では部員個々の演奏技術に多くの課題があることが指摘されていました。基礎練習をしっかりと来年は銀賞以上を受賞できるように励みたいと思います。



文化ホールでの練習風景

オープンキャンパス（学校見学会）

8月7日に中学3年生を対象として開催し、中学生366名、保護者および引率者97名という多数の参加を頂きました。学校全体の概要説明の後、希望する学科の見学、実習体験を午前、午後に分けて行ってもらいました。当日の様子をアンケート結果と合わせてお知らせします。



機械工学科



- ・機械工学科などで作られたロボットなどが、1つ1つとてもすごい性能があり興味がわきました。
- ・文鎮を作ったり、ロボコンの機械を見たり、すべて印象に残りました。高専生のひとがみんなやさしく見えました。
- ・ガス切断が難しそうで危なかったけど、鉄を焼き切るのがおもしろそうだった。

電気情報工学科



- ・放電の実験が印象に残った。大きな音で驚愕したけど、実際に見られてよかった。
- ・最後にやったものが少し難しかったけど慣れればすぐできたので楽しくできて良かったです。教えてくれた人も親切で良かったです。
- ・専攻科にあったパソコンの中のサイコロを、本当にふれているように感じる機械が印象に残った。

■ 電子制御工学科



- ・犬のロボットがすごくかわかったし、いろんなロボットがあって楽しかった。金魚みたいなのもかわかった。
- ・AIBOや自動演奏、ハンカチのやつやBOOKONなどかわいかったり、発想がおもしろいものがいっぱいあった。
- ・全部印象にのこりました。おもしろそうな実験がいっぱいだし、これからの社会に役立つ事をしているのはすごいと思ったし、びっくりしました。

■ 物質工学科



- ・液体窒素の実験のボールの実験がおもしろかったです。パリッといって割れるのはびっくりしました。
- ・多種の実験が体験できて楽しかったです。おかげで未知の世界を少しだけ知ることができました。先生方も大変おもしろく話も楽しんで聴けました。
- ・実験室がいくつにも分かれていて本格的だなと思った。

■ 建築学科



- ・折り紙で実際にどこまで強度があるのかなどをやって楽しかったです。CADでももっとたくさんをやりたいと思いました。
- ・ドームの設計がとてもきれいで、自分もデザインをしてみたいと思った。
- ・生徒たちが作った設計図などすごいと思った。私も作れるようになったらいいと思った。

4 年



学年主任 電子制御工学科
雑 賀 憲 昭

4月から各学科ともインターンシップに参加させる学生の鼓吹に懸命に取り組んできました。不況の煽りを受けて、昨年度178社に対して今年度の受け入れ企業数は141社で約20%減少し、特に車、家電関係企業の申し込みは極めて限られていました。しかし学生の心構えは企業をしっかりと向いて、自分にあった企業を真剣に探しているようで好感の持てるものでした。遅刻する子、言葉使いの乱雑な子、ゴミを散逸する子など、担任は事ある毎に注意し、企業に入れば大事になることを教え指導してきました。保護者懇談会でもご父兄は、衣服や靴を揃えていると話され、飯とはいえ社会人として巣立つであろう子供たちの準備をされ、親心を感じて嬉しく思いました。8月中旬には先陣でインターンシップを終えた学生が電話を掛けてきて、いい経験になったことや面白かったと話してくれて、半年後の就職試験の心の準備ができ始めていることを感じました。最後に、不況下で時間と人材、費用を投じ学生の教育に当たられた企業の方々に感謝申し上げる次第です。

■在籍学生数

() 女子の内数

【 】 留学生の内数

4M	4E	4D	4C	4A	計
40(2)【1】	38(2)【1】	33(6)	37(12)	46(23)	194(45)【2】



インターンシップを終えて 木下 大

私はインターンシップで、鳥取市の三洋電機コンシューマエレクトロニクス株式会社家電事業部に1週間行かせて頂きました。主な内容は3DCADを用いた設計でしたが、製品PRポスターの作成や動作試験にも立ち合わせて頂き、日々移り変わる「家電」

業界での、消費者と製造者のパイプとも言える設計者・技術者の苦勞と志を体感させて頂きました。また、今まで高専で学んできたものを十分に発揮できず企業様の期待にこたえられたとはいえない自分を知り、身の引き締まる実習ともなりました。

ご安全に！

山崎 翠

私は三菱重工業株式会社長崎造船所でインターンシップを行わせて頂きました。

三菱重工での一日は、まず朝の体操をした後「ご安全に！」と元気よく言うことから始まります。午前10時と午後3時にある放送も、締め言葉は必ず「ご安全に！」なのです。これは、5000人以上もいる社員の方一人一人が、安全に一日の仕事を終えるための一種のおまじないだと感じました。

こんな良いおまじないを使わない手はありません！もうすぐ高専祭がありますが、高専生の皆さん、準備は「ご安全に！」

機械工学科



チームワークの重要性 造田 美咲

私はエヌ・ティ・ティ・コムウェア西日本株式会社で5日間のインターンシップに参加しました。その中で私は、チームの重要性を知ることができて本当に良かったと思います。最初は不安でいっぱいでしたが、チームの人と一緒に作業をしていくうちに

打ち解けることができ、最後のプレゼンでは、6チーム中1番の評価を受けました。普段独りよがりの私にとって、とても貴重な経験になったと思います。

今回のインターンシップで学んだことをこれからの生活に活かしていきたいです。

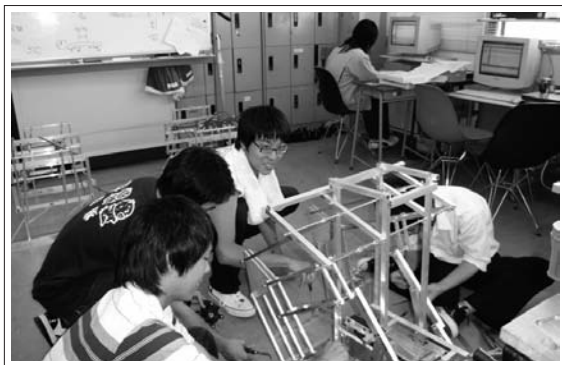
電気を供給する現場を体験して

内藤 翔太

私がお世話になったのは、中国電力株式会社の広島営業所でした。営業所の仕事は、電柱の整備や各戸のメータの取替など、お客様と直接触れ合う機会のある仕事でした。社員の方のお話を聞いたり、いろいろな講義を受けたりして、本当に真心のこもった接客や仕事をしておられるということを感じました。命をかけた仕事のため、しっかりと安全意識の中迅速に仕事をこなされる姿に感動しました。インターンシップで学んだことを将来活かしていきたいです。

電気情報工学科

電子制御工学科



インターンシップを終えて 坂本 真悟

私は東レ株式会社滋賀事業所内にあるオペロンテックス株式会社にインターンシップに行きました。オペロンテックスは東レのLYCRA (R) fiberという製品を専門で作っている会社で、今回はその保全課で実習を行いました。

最初の週は製品を巻き取るワインダという機械の裏を開け

て構造の説明を受け、実際に保全を行いました。次の週はシャットダウン設定器のコンデンサ交換をしたり、ラダープログラムを組んだりしました。そして、最終日にはトラブルのあった産業用アームロボットの点検を一緒にやらせてもらうことができました。

今回のインターンシップでは本当に貴重な体験をすることができました。この経験を生かしてこれから頑張っていきます。

インターンシップを終えて 伊藤 夏織

私は、8/3～8/12(実動10日間)に、東京都にある東京エレクトロンにインターンシップに行きました。東京エレクトロンは半導体製造装置や液晶パネル製造装置を製造している会社です。1週間目は半導体製造装置の一部を分解・組立をしたり、設計したりしました。2週間目はロジカルシンキングの方法や英語レッスン等のビジネス研修を受けました。

私はこのインターンシップで、実際に働くということ、また技術者としてのモノづくりの信念などを学ぶことができました。このことを、これからの生活に生かしていきたいと思いました。

物質工学科



インターンシップで学んだこと 木下 瑞

私は、島根県農業技術センターへインターンシップに行きました。主な実習内容は、植物の組織培養、試料となる植物の栽培管理、植物の葉からのDNAの抽出・分析でした。

今回の実習での作業や、研究の説明を聞いて学校で習ったことをより深く学習することができました。屋内作業と野外作業どちらもやらせて頂き、野外では雨が降ったりと大変な時もあったけれど、楽しかったし、とても貴重な体験をすることができました。

インターンシップを終えて 馬西 洋徳

私は、大阪のダイキン工業というエアコンを筆頭に様々な機械、化学製品を製造している会社にてインターンシップを行いました。実習ではその子会社、ダイキンファインケミカル研究所にてコンタクトレンズ原料の精製法の改善検討を行いました。そこでの研修は毎日、見るもの、聞くことすべてが新鮮でした。実習の終了するころには、社員の方に食事にも連れて行ってもらい、今後の学生生活の参考となるような話も聞かせていただきました。社員の方にもよくしていただき非常に充実した2週間が送れました。

建築学科



インターンシップを終えて 権田和希子

実習先のホームデコ米子店は、ガーデンとインテリアによりやすらぎの空間を提供する職場です。図面のトレース、住宅模型の製作、現場・ディスプレイ体験などを行いました。実習中何より驚いたのが、アドバイザー一人で営業からデザ

イン・現場までこなしてしまうことです。また、社長さんの「家自体だけでなく、家を装飾する庭や家具まで全てで住宅」という言葉を聞いた時、自分が今まで住宅の箱のカタチだけにとらわれていたことに気付きました。今後は実習で学んだことを活かし、視野と活動範囲を広げていきたいと思います。

インターンシップを終えて 砂場雄一郎

自分は滋賀県の石井建築設計事務所に5日間行きました。将来、古民家の改修や、住宅建築を仕事にしたいと思っています。今回のインターンシップでは設計事務所に行き、仕事を理解し、将来の進路決定に役立てることを目的としました。実習内容は主に模型制作、現場見学、また講演会や、土日にはNPO活動にも参加しました。実習を通して、学校で勉強していることは基礎であることを知りました。社会に出る前に、それ以上のことを身につけていけるように、本や雑誌などを読み、またさまざまな人と交流していきたいと思っています。

専攻科1年

米子高専専攻科に入学して

生産システム工学専攻
寺谷 泰明

私は技術者として機械、電気、電子の複合された幅広い知識や技術を身につけるため専攻科を選択しました。専攻科は本科と大きな違いはなく、学びなれた環境であることが大きな魅力であると思います。

専攻科の授業は大学と同じように自分が学びたい教科を選択することができ、残りの時間で研究を進めるなど、自分で計画性を持って学ぶことができます。この計画を持って研究を行うことは、学位試験を受けるためにも大切なことであり、自分自身の力にもなります。



寮生会便り

寮 祭

高砂寮 寮祭実行委員長 川上 渉
白鳥寮 寮祭実行委員長 大下 朋子

今年の寮祭は6月26、27日に行われました。昨年とは異なり今年は天候にも恵まれ、予定していたイベントをすべて順調に行うことが出来ました。当初は今年の寮祭実行委員として自分達にできるか不安でした。各企画にどのくらいのお金を振り分けるかを検討し、予算内に収まるように計画していくのがとても大変でしたが、他の役員の方が手伝ってくれたお陰で無事に終わることができました。たくさんの方が企画に参加して、とても盛り上がったと思います。寮祭の準備をする側だけでなく、参加する側の人たちやたくさんの人々のお陰で寮祭はできたんだと実感しました。最後に恒例の蚤の市を始め教職員の皆様にも大変お世話になり、ありがとうございました。



専攻科での活動紹介

建築学専攻
生田 美樹

みなさんは「鳥の劇場」をご存知ですか。私は今年度、特別研究のテーマとして、舞台空間と建築空間について学んでいます。その一環として、7月25日に、鳥取県鹿野町にある、廃校を利用した「鳥の劇場」で高増先生と『実物大・立体着せ替えハウス』という建築ワークショップを実施しました。また、9月に「鳥の劇場」で行われる「鳥の演劇祭」にも参加します。「活動的で充実した専攻科生活」を送れるよう頑張ります。



ワークショップでつくった実物大・立体着せ替えハウスと参加者たち

球 技 大 会

高砂寮 体育委員長 福田 克英

男子寮前期の球技大会は恒例のバレーボールとバスケットを行いました。怪我人もなく無事に終わることが出来ました。初めての球技大会運営で分からないことだらけでしたが、先輩役員をはじめ、寮生の皆様のご協力のおかげでスムーズに進行できました。後期もまたよろしくお願いします。

白鳥寮 体育委員長 磯田 実希

女子寮の球技大会はバレーボールを行いました。人数が少なかったですが、1年生から専攻科生まで学年は関係なく、それぞれのチームごとに優勝を目指して頑張りました。今回は教員チームがとても強く苦戦をしましたが、どのチームも協力して競技を行うことが出来たので、とてもよかったと思います。



研究紹介

物質工学科 谷藤 尚貴 研究室

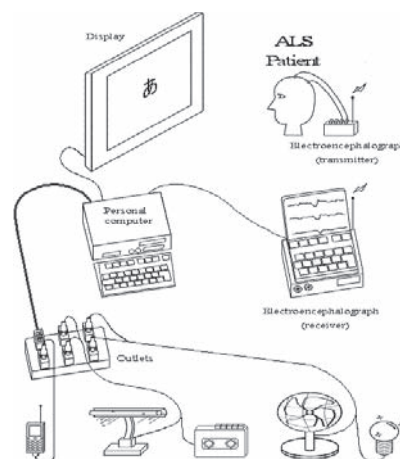
当研究室では、有機化学反応を用いて機能性材料を合成する研究を行っています。化学物質は100万分の1ミリメートル前後という小さな世界の中で分子や原子を切ったりつなぎ合わせたりする事で合成され、その形を変えて行くことにより我々の5感で感じとることができる「材料」になります。近年「ナノテクノロジー」という言葉がよく使われているように、分子のような総原子数の少ない構造体の機能に注目した材料を開発すれば、これまでの機能を上回る材料を作り出せることが分かっています。そこで、当研究室ではこれまでに蓄積した光や電子によって機能が発現する分子の知見を活用し、新しい機能性材料の創生を目標にした合成実験を行っています。初めての卒研生が入って半年の研究室であるため、現在のごく簡単な構造の分子合成に取り組んでいる段階ですが、目に見えない極めて小さな世界にゼロの状態からコツコツと建材を組み上げて構造体を作っていく楽しさを見出しつつ、世界初の化合物や反応を作り出していこうと頑張っています。



研究紹介

電子制御工学科 加納 尚之 研究室

思考能力は健常者と同じであるにもかかわらず、周囲の人に意思を伝えることができない筋萎縮性側索硬化症（Amyotrophic Lateral Sclerosis: ALS）患者のための意思伝達補助装置（Communication Aids: CA）の開発を行っています。CAで最も重要な部分は、患者との接点である入力センサです。ALSは重度であっても、まばたきや視線の動きが保たれている場合が多く、これらを利用したセンサが必要となります。しかし、さらに病状が進行し、これらを利用したセンサが使用不能となった場合には、患者の意思伝達は困難を極めます。そこで、加納尚之研究室では、重度のALS患者の意思を伝えるために、脳波を用いて意思を伝えることのできるシステムの開発に取り組んでいます。現在、心で念じるだけで家電製品のスイッチを入れることに成功しています。



学会表彰受賞

工作機械技術振興賞(奨励賞)を受賞して

生産システム工学専攻2年 平野 達也

このたび、6月15日に東京都霞ヶ関ビルにて開催された第30回工作機械技術振興賞贈賞式に指導教員の太塚茂先生と共に出席し、奨励賞をいただきました。この賞は工作機械技術に関する論文に贈られる賞であり、「多孔質動圧スラスト・ラジアル複合軸受における非定常状態での軸芯軌跡挙動について」というテーマの研究論文が評価されての受賞となりました。これまで、日本機械学会中国四国学生会卒業研究発表講演会におきまして、2年連続で優秀発表賞をいただき、そのうえ今回もこのような名誉な賞をいただくことができ、大変うれしく思います。これに慢心することなく、今後社会に出てからも、より一層の研究・開発に対するモチベーションを高め、努力していきたいと考えています。最後に、これまでの研究において、本科5年次より熱心にご指導して下さった機械工学科太塚茂先生に深く感謝いたします。

工作機械技術振興賞贈賞式



工作機械技術振興財団より奨励賞を受賞

機械工学科 太塚 茂

先般6月15日に、霞ヶ関ビルにて催された工作機械技術振興財団主催の贈賞式に、奨励賞受賞者として専攻科S2学生：平野達也君と共に出席してまいりました。この奨励賞は、日本機械学会・日本精密工学会・日本砥粒学会などを母体とし、昨年度の工作機械技術に関する発表論文（候補論文数162編）中、全国で7編に与えられたものです。研究内容は、「多孔質動圧複合軸受における非定常状態での軸芯軌跡挙動について」というテーマです。昨年度の山口顕司先生・S2：小平史悠君の論文に続き、米子高専機械工学科として2年連続での受賞となりました。この栄誉を素直に喜ぶとともに、御協力、御推薦頂いた関係各位に深く感謝する次第です。高専教員の多忙さは年を追うごとに増すばかりですが、今後もこの受賞を励みに研究の更なる進展を目指し精進していきたいと考えております。

「ものづくり創成PBL支援事業」の取り組み ～「ソルダリング（はんだ付け）入門」講座実施～

技術教育支援センター

技術教育支援センター事業として、本科生を対象に「メカトロニクスのためのソルダリング（はんだ付け）入門」講座を開講しました。この取り組みは、地域共同テクノセンターが推進する企業技術者等活用プログラムの一環として実施し、温調式ステーションはんだコテの使用、環境に配慮した鉛フリーはんだ及び無洗浄フラックスの使用をメインに、企業で行われているソルダリング技術習得を大きな目的としました。

講座は、2時間×3回のスケジュールで電気系技術職員の指導のもと、メカトロニクス分野における“ものづくり”において、ソルダリング（特に手はんだ）技術は、“もの”の善し悪しを左右する重要な作業要素であることを学習しました。

参加学生のアンケートには、「普段の授業と一緒に学べない学科の学生や技術職員と共に新たな技術を学ぶことが出来て、講座の内容と受講環境が良かった」といった意見が多数あり、今回のソルダリング（はんだ付け）入門講座の成果が、今後のものづくりに生かされることが期待されます。



南インドでの国際協力 ～JICAプロジェクトへの技術支援～

建築学科 玉井 孝幸

昨年、平成20年12月号の彦名通信で紹介していたJICAのプロジェクトに、7月18日から28日の11日間、建築学科5年生の福谷君と仲田君とともにに行ってきました。

活動場所は、インドの南に位置するチェンナイ市からさらに南へ約80km行ったコヴァラム村という漁村です。活動地域の気温は昼間は40℃を超え、日差しも日本以上に厳しい中、バイオトイレの建設を行いました。

インドの貧困地域ではトイレがなく、その人数は約2億人に上ります。多くの人は林などで用を足しますが、排せつ物が雨で流され、ため池に溜りばい菌が繁殖します。その池で水浴びをするため、免疫力の劣った子供が病気になる、医療費の負担や子供が亡くなることもあります。

私たちが建設したトイレには水浴び場もあり、ドラックタイプと呼ばれ、竣工式にはインドの歌手が来てセレモニーが行われました。現地の方たちにも好評で建設中にも「家にも建ててくれ!」という要望が数多くあり、今後は、今回教えた方法で多くのバイオトイレを建設してくれることを望んでいます。



インフルエンザについて

保健室 看護師 三澤 美千子

本年6月に新型インフルエンザの世界的大流行（パンデミック）が宣言され、本格的な流行のシーズンを迎えています。比較的弱毒性であるが経過によっては決して侮れないといわれていましたが、9月以降基礎疾患を持たない人の死亡が日本でも相次いで発生し、重症者の増加が危惧されています。

インフルエンザの感染経路は主に飛沫感染と接触感染です。予防にはウイルスに感染する機会を減らすこととウイルスに負けない環境や体調を整えることが大切です。予防の基本である【手洗い（石鹸を使用し15秒以上かけて入念に）】【うがい】【咳エチケット】は効果的ですので日頃から習慣づけて行ってください。

睡眠不足のため、体調不良を訴えて保健室を訪れる学生が多く見られます。勉強、部活などいろいろあると思いますが、極力規則正しい生活リズムを心掛け、バランスのよい食事や睡眠をきちんととって体力の保持に努め、ひとりひとりが感染防止に留意して皆で感染を予防しましょう。



建築学科展示会 in ジャスコ日吉津

建築学科 細田 智久

授業課題や全国高専デザインコンペティションで作成した模型などを展示する「高専ケンチュク展」を8月21日から23日まで、イオン日吉津ショッピングセンター東館1階ふれあいコートで開催しました。3日間で1000人を超える来場者があり、特に小さな子どもや中学生は、模型で作り上げた夢のある建築や都市に興味深く、時には歓声をあげて見てもらい、建築学科の大きなアピールになりました。

この企画は、専攻科2年生が対象の講義「企画デザイン論」の課題として取り組みました。展示品の選択、卒業生紹介パネルデザイン、展示レイアウト、体験コーナーの企画、チラシデザインなどについて討議を重ね、分担して作成しました。

建築分野では展示の企画やデザインの機会も多いため、学生には貴重な体験になったと同時に、多くの来場者を集めたことで自信にもなったと思います。



ロボコン2009校内大会結果報告

機械工学科 矢壁 正樹



夏休み最後の金曜日である8月28日にロボコン2009校内大会が開かれました。機械工学科からはLa・vit story(ラビットストーリー)と命名したロボットで参加。夏休み返上で学生たちが一生懸命に作製した甲斐あって、課題のいくつかをクリアし、優勝することができました。また、観戦に来校された小学生達にもロボットの動きを見てもらうことができ、高専をアピールできたと思います。大会前ですのでロボットの詳細については未だ皆様に公開することはできませんので、写真のロボットはぼかしていることをご容赦ください。今は10月18日に周南市で開かれるロボコン中国地区大会に向けて鋭意製作中です。

プロコン予選結果

電子制御工学科 河野 清尊

全国高等専門学校第20回プログラミングコンテスト「集まれ手作りの未来たちー海を越え！翔けろ！橋になれ！ー」の予選(書類審査)が6月27日(土)に国立高専機構田町CICオフィスで行われました。本校からは、課題部門に2作品、自由部門に2作品、競技部門に1作品をそれぞれ応募し、以下の3作品が予選を通過しました。本選は木更津高専を主管校にして10月17日(土)・18日(日)に「かずさアカデミアホール」で行われます。詳しくは、プロコン公式サイト: <http://www.procon.gr.jp/> をご覧ください。

■課題部門

テーマ「ゆとりを生み出すコンピュータ」
作品名:「特命操作官ハンカChief
ーハンカチ型入力

インタフェースー」

参加学生: S2村田大介、S2吉岡慎二、
5D和田泰治、2D廣池颯人、
2D廣江翼

指導教員: 河野清尊

■自由部門

作品名:「UU-Note
ーのーとえびおりゆーしょん!!ー」

参加学生: 2E木村勇太、2E成相雅樹、
2E松上寿支、2E清水一貴
指導教員: 松本正己

■競技部門

テーマ「何色? サッと見 発見伝」
作品名:「MAWASE!」

参加学生: 4D左久間一幸、3M湊崎
拓也、3E澤下陽
指導教員: 倉田久靖

デザコン校内予選

建築学科 山田 祐司



9/7(月)の放課後、全国高専デザインコンペティション(デザコン)のブリッジ部門の校内予選会を開催しました。参加チームは、建築学科の4年生から専攻科生までの10チームでした。今年の課題は、重心に作用する荷重を、三角形の3つの支点で支持するもので、どの応募作品もブリッジとは言い難い形状となっていました。夏休み前に行った予備審査会の後、夏休み中こつこつと製作精度を高めてきた作品が多く、載荷記録も飛躍的に伸びていました。

予選での記録の良かった作品の中から2作品を選び、11月14、15日に豊田高専で行われる本選に臨みます。

平成21年度行事予定(後期)

10月	11月	12月	1月	2月	3月
1 木	1 日	1 火	1 金	1 月	1 月
2 金	2 月	2 水	2 土	2 火	2 火
3 土	3 火	3 木	3 日	3 水	3 水
4 日	4 水	4 金	4 月	4 木	4 木
5 月	5 木	5 土	5 火	5 金	5 金
6 火	6 金	6 日	6 水	6 土	6 土
7 水	7 土	7 月	7 木	7 日	7 日
8 木	8 日	8 火	8 金	8 月	8 月
9 金	9 月	9 水	9 土	9 火	9 火
10 土	10 火	10 木	10 日	10 水	10 水
11 日	11 水	11 金	11 月	11 木	11 木
12 月	12 木	12 土	12 火	12 金	12 金
13 火	13 金	13 日	13 水	13 土	13 土
14 水	14 土	14 月	14 木	14 日	14 日
15 木	15 日	15 火	15 金	15 月	15 月
16 金	16 月	16 水	16 土	16 火	16 火
17 土	17 火	17 木	17 日	17 水	17 水
18 日	18 水	18 金	18 月	18 木	18 木
19 月	19 木	19 土	19 火	19 金	19 金
20 火	20 金	20 日	20 水	20 土	20 土
21 水	21 土	21 月	21 木	21 日	21 日
22 木	22 日	22 火	22 金	22 月	22 月
23 金	23 月	23 水	23 土	23 火	23 火
24 土	24 火	24 木	24 日	24 水	24 水
25 日	25 水	25 金	25 月	25 木	25 木
26 月	26 木	26 土	26 火	26 金	26 金
27 火	27 金	27 日	27 水	27 土	27 土
28 水	28 土	28 月	28 木	28 日	28 日
29 木	29 日	29 火	29 金	29 月	29 月
30 金	30 月	30 水	30 土	30 火	30 火
31 土	文化祭準備	31 木	31 日	31 水	31 水

夏季休業中の公開講座・出前講座

今年度も夏季休業中に本校教員や学生が参加してさまざまな公開講座・出前講座が実施されました。そのうちのいくつかをご紹介します。

リサイクル工作でインテリア雑貨を作ろう

技術教育支援センター 上田 輝美

8月8日(土)、本校において公開講座「リサイクル工作でインテリア雑貨を作ろう」を実施しました。本講座では、小学3、4年生20名がアイデアを生かし、割りばしやボタン、県内の海山の貝殻や木の端材など身近な環境にあるものを使い、時計やモビールなどオリジナルなインテリア雑貨を作りました。第3回目を迎えた今年度は、リサイクルに関する話も交え、ものづくりの楽しさとともに環境を考える、より充実した講座となりました。

最後に、本講座の開催にあたり、諸手続きや部屋の提供などお世話になりました本校関係者ならびに、材料をご提供下さいました多くの教職員の皆様に、この場をかりて厚くお礼申し上げます。

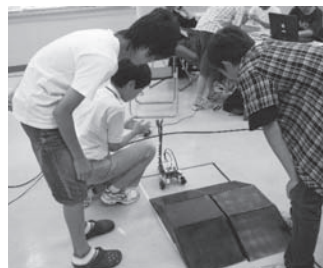


レゴ・マインドストームでレーダーヴィークルを作ろう!

機械工学科 榎田 岳

8月20日(木)～21日(金)の日程で、本校機械工学科アトリエにおいて公開講座「レゴ・マインドストームでレーダーヴィークルを作ろう!」を実施しました。本年度は、中学1～3年生を対象として、合計13人の参加がありました。今回のテーマは、レゴ・マインドストームを使用した自動制御ロボットによるレーダーヴィークルの製作を目標とし、1チームあたり3名から4名の中学生がアイデアと工夫をこらして独自のロボットの組立と自動制御プログラムにチャレンジしました。講座の最後には合計4チームによるレーダーヴィークル・レースを開催し、それぞれのチームの自動制御ロボットの出来ばえを競い合いました。

本講座を開催するにあたりご協力を頂きました機械工学科教職員の方々、補助学生の面々に深くお礼申し上げます。



ジョイント講座 夏休み子供科学体験教室

物質工学科 田中 晋

7・8月に米子高専・米子市教育文化事業団連携事業のひとつとして、小学生を対象としたジョイント講座「夏休み科学体験教室」を米子市児童文化センターと淀江文化センターにて、下表のような内容で実施しました。本ジョイント講座は平成19年度から開催しており、今年で3年目となります。今回は、声で砂絵を描いたり、光を使った反応を観察したりといった新ネタも導入することができました。当日は夏休みの自由研究の参考にしようというこどもたちも多く、皆、実験や工作に熱心に取り組んでいました。



科学マジック実演中

大盛況! 親子で楽しむロボットづくり教室

電子制御工学科 井上 学

7月25日に、電子制御工学科・実験室で、小学生と保護者を対象に公開講座「親子で楽しむロボットづくり教室」を開催しました。この講座は、高専学生(専攻科学生1名、本科学学生8名の計9名)のサポートのもと、市販のロボット・キットの作成を、ロボットの脳や感覚にあたる電子回路の半田付けから手足となる機構の組み立てまで行います。親子で考え、相談しながらいろいろな工程をこなしていき、楽しい時間を共有しつつさらには「ものづくり」のおもしろさを実感して頂くことが本講座の狙いです。

初回であった昨年度の反省を活かし、補助学生への事前説明や準備をしっかりと行っていたため、講座では特にトラブルもなくスムーズに進行することができました。受講者の方々の様子やアンケートから、本講座の目的を達成できたのではないかと思います。快くサポート係を引き受けてくれた補助学生、広報から運営までご協力頂きました教職員の皆様にこの場をお借りしてお礼申し上げます。

なお、受講受入組数16に対して倍以上の申込みがあったため、9月5日に第2回目を開催しました。こちらも1回目と同様、大盛況のうちに無事終了することができました。



日付	場所	講師	参加者と内容
7月27日(月)	米子市児童文化センター	C科 田中晋 G科 越智	小学校4～6年30名 他 科学マジック・しんくう実験・液体窒素であそぼう
7月29日(水)		C科 田原 田中晋 谷藤	小学校1～3年30名 他 科学マジック・色付きスライムづくり・光で字や絵を書く
8月3日(月)		A科 西川 藤木	小学校4～6年30名 他 厚紙でつくるピラミッド
8月10日(月)	淀江文化センター	E科 新田 C科 田中晋	小学校4～6年7名 他 声で砂絵を描こう・液体窒素であそぼう
8月11日(火)		C科 田中晋 G科 越智	小学校1～3年30名 他 科学マジック・しんくう実験・スライム
8月20日(木)		A科 西川 藤木	小学校4～6年30名 他 厚紙でつくるピラミッド
8月21日(金)			小学校1～3年30名 他 スチロール樹脂でつくる動物模型

出前講座「こども科学体験教室」

物質工学科 田中 晋

今年度も6月から、小学生を主な受講対象とした出前講座「こども科学体験教室」を米子市内外の各所にて実施しています。6～8月に実施した教室の一覧を下表に示します。既に26回の教室を開催し、いずれの会場でも子供たちは目を輝かせて実験に取り組んでおり、我々はその元気の良いパワーに圧倒されるばかりでした。

本教室は、子供たちの理科離れ対策としての地域貢献と本校の宣伝を目的とし、平成17年度からスタートしました。年々、開催希望件数が増加するに従い、講師として協力いただく本校の教員を増員してきましたが、同時に実験テーマや日程調整等が煩雑となってきたため、今年度は1つだった「こども科学体験教室」を①物理分野、②化学分野、③工学分野の3つの教室に分けました。①物理分野では、一般科目理科教員らが講師を担当し、手動ポンプで減圧可能な容器を用いた「しんくう実験」や紙工作でトンボ型やじろべいなどを作成する「バランスのふしぎ」などを実施しました。②化学分野では、C科の全教員が講師を担当し、液体窒素でいろいろなものを凍らせる「液体ちっそであそぼう」やシャボン玉でリフティングをする「割れにくいシャボン玉」といった科学体験を実施しました。③工学分野では、M, E, D, A科の教員が講師を担当し、銅合金を材料にした「金属の鏡を作ってみよう」やアルミ箔の玉を利用したコヒーラ受信機を使って「電波の科学実験室」などを実施しました。

出前講座を行うにあたって、本校学生に実験補助をお願いしたことも数多くありました。皆さんありがとうございました。9月以降も、本講座を多数開催することが決まっています。実験補助として参加を希望する学生は、是非とも講師担当の先生へ申し出てください。



バランストンボ製作中



ホバークラフトの試走



折り紙で本を支える！



液体窒素で
空気を冷やそう！

種類	開催日	会場等	参加者数	講師	①	7/19	福生東小学校	88	越智、田中晋	①	8/1	米子市男女共同参画センター	37	越智
②	6/6	崎津小学校	73	小川、里村	②	7/19	福生東公民館	48	小田、青木	②	8/2	蛸ヶ丘公民館	20	小川
①	6/21	夕日ヶ丘1丁目集会場	23	越智	①	7/22	春日公民館	20	川邊	②	8/3	淀江児童館	29	小田、竹中
②	6/27	明道小学校	47	青木、榎間	①②	7/26	とっとり花回廊	28	越智、藤井	②	8/3	彦名小学校	18	小川
①③	6/27	十神小学校	48	越智、新田	②	7/28	県公民館	25	谷藤	②	8/5	余子公民館	34	谷藤
①③	7/9	彦名小学校	35	越智、大塚宏	①	7/29	尚徳公民館	24	越智	②	8/6	五千石小学校	19	小田、青木
②	7/12	就将小学校	85	小田、谷藤	①	7/30	保育園ビッグベアーズ	34	越智	②	8/20	南部町 農村環境改善センター	40	青木、田中晋
③	7/12	大山公民館	58	河添、山田	②	7/30	中浜公民館	60	竹中、里村	①	8/21	総合福祉センター「しあわせ」	35	越智
①②	7/12	日南町総合文化センター	40	越智、谷藤	②	8/1	名和公民館	36	小田、山本幸	②	8/30	福生西公民館	20	竹中、榎間

● 「米子こどもの科学教室」に出展 ●

8月2日に、鳥取県西部の大学・高専・高校の教員、福米東おやじの会などの有志から成るわかつり科学技術育成会西部支部の主催によって「米子こどもの科学教室」が鳥取県立武道館にて開催され、本校からは全20ブースのうちの7つの実験ブースを出展しました。当日は、500名以上の子供たちの来場があり、実験補助として参加した本校の学生たちは、休む暇もなく大変ではありましたが、実験補助を通じて、教えることの難しさと楽しさを体験してもらえたのではないかと思います。

講師	実験テーマ
E科 宮田	組み立て式電気自動車をつくって乗ってみよう
M科 大塚宏	卓上ホバークラフトをつくろう
E科 新田	声で砂絵を描こう
C科 田中晋	人工イクラをつくろう
C科 谷藤	ひかりをつかって字や絵を書こう書こう、液体ちっそを使った実験
G科 越智	バランスのふしぎ



会場の風景



声で砂絵を描こう

中・高校生科学ゼミナール（スーパーエンジョイ科学館）

今年度は、これまでも中学生を対象に開催してきた公開講座「エンジョイ科学館」を、鳥取県との連携講座として開催しました。7月24日に合計27名が参加し開催され、本校の学生による丁寧な指導が好評でした。

機械館



スターリングエンジン自動車を作ろう!!

- 面白い内容だったし、これから役に立つ分野だと思ったので、とても良かった。
- とても楽しかったです。教えてくれた学生さん達も話がすごく面白かったです。最初はなかなか回らなかったけど最終的に走ることでできてよかったです。

電気情報館



エアシュートサッカーロボをつくろう!!

- 今日の講座でロボットを作って試合ができた事が一番嬉しかったです。これをきっかけにロボットへの興味が深まりました。
- 動かなかった時に、直してくれて嬉しかった。最後のゲームが面白かった。

電子制御館



コンピューターロボットを作ろう!

- 最初は難しいと思ったけど先生や高専の人が優しく教えてくれて良かったです。またいつか参加したいと思いました。
- プログラムの時にサポートしてくださった方が教えてくれたのでよく分かりました。

科学捜査館



DNA鑑定で犯人を捜そう!!

- 普段はあまりできないような事ができたので良かったです。
- 犯人探しをするのがとても楽しかったです。遺伝子についてよく分かったので良かったです。

建築館



世界的に有名な建築家の住宅模型づくりから、建築デザインの面白さを学ぼう

- 立体を作るのが好きで建築に興味があったので参加しました。高専生の方がとても優しく教えてくださったので嬉しかったです。いろいろ工夫ができた作品ができました。半日ありがとうございました。
- 建築に興味があったので参加しました。高専は良いところだと思っていたら本当にすごく良い所だった。もっと建築の勉強がしたいので高専に行きたいです。

理科館



無事帰還！モデルロケットを打ち上げよう！

- 上手にできて嬉しかった。
- 発射できて面白かった。

編集後記

今年も中国地区高専体育大会、全国高専体育大会などで好成績が続出し、学内は大いに沸き返りました。学生たちの努力に、最大級の賛辞を送りたいと思います。

紙面へのご意見・ご感想を、メール（hikona@yonago-k.ac.jp）にてぜひお寄せください。

※記事中において、学科名をアルファベットで表している箇所があります。

M…機械工学科、E…電気情報工学科、D…電子制御工学科、C…物質工学科、A…建築学科、G…一般科目、S…専攻科
例えば、「1M」は機械工学科1年生を表しています。

発行：米子高専広報委員会

〒683-8502 鳥取県米子市彦名町 4448 TEL: 0859-24-5023 FAX: 0859-24-5029 印刷：勝美印刷株式会社
E-mail: hikona@yonago-k.ac.jp ホームページ：<http://www.yonago-k.ac.jp/> ⇒メニューより「キャンパスライフ」

R100
古紙配合率100%
再生紙を使用しています